

令和 6 年度
社会福祉法人かいせい 事業報告書

1 運営の概況

当該年度は 3 年毎の報酬改定の年にあたり、特に就労継続支援事業 B 型と生活介護については改定の影響を大きく受ける結果となった。平均工賃の算定方法が変更となったことにより、就労継続支援事業 B 型「かいせい東川」は大幅な増収となっている。一方で、各利用者の通所時間に応じた報酬体系となった生活介護「ふっと」は、退所する利用者もいたことから大幅な減収となっている。焼き菓子やパンの製造販売など授産事業については、イベントなど販売機会は増えているものの売り上げはやや減少し、原材料の高騰により最終的な収支はマイナスとなっている。

支出については、職員の入退職の差し引きにより人件費は前年度より増加しているほか、水道光熱費の上昇も大きな負担となっている。例年通り、年を追うごとに職員の採用が難しくなっているほか、他産業で賃上げの傾向が強まっていることから、今後も人件費は増加していくことが予想される。

職員研修については、障がいのある方々の権利擁護や虐待防止のほか、防災、感染対策、職員のストレス対策などについて計画的に実施した。

当該年度も各事業所がそれぞれ自立した事業運営に努力し、互いに課題を共有しながら、法人全体で連携・協力して運営の安定に取り組んだ。

2 利用状況

利用契約者数については、ふっととグループホームわふとでそれぞれ退所者がおり、ふっとでは一日当たりの平均利用者数もやや減少している。かいせい東川（オリーブを含む）は新卒の利用者が 2 名増えた一方で 1 名の退所者がいたが、一日当たりの平均利用者数は 1.5 名ほど増加している。

事業所名	かいせい東川 (オリーブ含む)	ふっと	わふと(4住居)
事業種別	就労継続 B 型	生活介護	共同生活援助
定員数	40 名	60 名	26 名
年度末利用契約者数 (前年度比)	50 名 (+1 名)	59 名 (-2 名)	25 名 (-1 名)
開所日数	242 日	242 日	365 日
平均利用者数 (前年度比)	36.4 名 (+1.5 名)	43.3 名 (-0.8 名)	21.7 名 (+0.7 名)

※ふっとの平均利用者数について、利用時間 5 時間以上 7 時間未満の利用者は 0.75 名、利用時間 5 時間未満の利用者は 0.5 名と計算されるため、それを踏まえた平均利用者数は 32.7 名となる。この 32.7 名という数字により、最低限必要な職員数が決まる（利用者数：職員数＝5：1）。

3 職員配置状況

職員数については、2名の退職（正職員1名、パート1名）と2名の入職（正職員1名、パート1名）があり総数は変わらないが、人件費は差額で上昇している。すべての事業所において、職員数は国が定める職員配置基準を満たしている。

	施設長	サビ管	職業指導員	生活支援員	世話人	看護職員	他
かいせい東川	1	1	2	3			
Ｌ オリーブ	同上	同上	1	2			
ふっと	1	1		11		1	1(嘱託医)
わふと（4住居）	1(兼)	2(兼)		5	7		

年度末時点／総職員数 37 名（前年度比±0 名）

4 支援業務

（１）個別支援計画の策定・見直し

- ・事業所全体でサービス管理責任者 4 名（うち 2 名は、管理者や支援員と兼務）

（２）就労支援事業（授産事業）

- ・クッキー、パンの製造販売（かいせい東川）
- ・焼き菓子の製造販売、パンの店の運営（オリーブ）
- ・軽作業、自主製品製造販売（ふっと作業班。生活介護登録者のうち 11 名）

（３）生活介護事業（ふっと）

創作活動、レクリエーションなど

外出（五稜郭タワーアトリウムでのアート展の見学など）

（４）居宅支援（グループホーム）

建物 4 棟のうち函館市追分町にある 2 棟は渡り廊下で一体化しているため、共同生活住居としては 3 ケ所となる。

（５）健康管理

- ・健康診断の実施（4 月～6 月）： 全事業所（利用者および職員）
- ・インフルエンザ予防接種（職員の接種費用は法人が負担）
- ・嘱託医の訪問（6 月、9 月、1 月、3 月）： ふっと

（６）安全対策

- ・避難訓練（各事業所で、春と秋に 1 回ずつ。）
- ・新型コロナウイルス、インフルエンザ等の感染対策

（７）環境整備

- ・施設内外の美化と整理整頓： 全事業所

5 就労支援事業（授産事業）

かいせい東川（主たる事業所）では当該年度から利用者工賃の日給を引き上げ、オリーブ（従たる事業所）と同額とした。売り上げについては、イベントや販売先などが増加傾向にあるものの、売上高としては前年度よりやや減収となっており、最終的な収支も前年度から大きく減少している。ふっとは下請け作業が中心となっているが、中止になった作業があることなどから、売り上げは当該年度も減少傾向にある。

	かいせい東川	オリーブ	ふっと作業班
売上高	15,589,785 円 (前年度比 -282,180 円)		634,269 円 (前年度比 -180,142 円)
工賃支給基準	日給 600 円+賞与 1 ヶ月 (前年度 500 円)	日給 600 円+賞与 1 ヶ月 (前年度と同じ)	日給 300 円+賞与 2,000 円 (前年度と同じ)
工賃総額	5,673,000 円		588,200 円
収 支	-405,764 円 (前年度 394,400 円)		13,954 円 (前年度 101,484 円)

6 委員会

- ・権利擁護委員会<兼>虐待防止委員会<兼>身体拘束適正化委員会
4 回開催。職員研修の企画・実施、ヒヤリハットの検討、事例紹介、等。
- ・感染予防対策委員会<兼>防災対策委員会
4 回開催。事業継続計画(BCP)の見直し、マニュアルの見直し、等。

7 実習生・ボランティアの受け入れ

介護実習生： 函館大妻高等学校より 2 名（かいせい東川、7 月）
社会福祉士実習生： 北海道教育大学函館校より 1 名（8 日間、3 月）

8 職員研修

- ・施設内研修「マインドフルネスについて」（8 月） 25 名参加
- ・施設内研修「緊急時、災害時の対応に関する研修」（8 月）グループホーム職員 9 名参加
- ・施設内研修「感染対策について（ウイルスについての対応）」（12 月） 23 名参加
- ・施設内研修「ヒヤリハット報告書から見える身体拘束」（2 月） 23 名参加
- ・施設内研修「自然災害発生時における業務継続計画について」（3 月） 26 名参加
- ・施設外研修「グループホーム世話人等交流会」（7 月）
函館地域障害者自立支援協議会主催、かなで〜る、1 名参加
- ・施設外研修「権利擁護のために<私たちの支援を考える>」（8 月）
函館地域障害者自立支援協議会主催、かなで〜る、1 名参加

- ・施設外研修「障害のある方の交際・結婚・子育て支援を考えるセミナー」（１２月）
北海道知的障がい福祉協会主催、札幌、１名参加

９ 補助金等

- ・処遇改善臨時特例交付金（北海道、７月）
全事業所合計：973,124 円
- ・この福祉基金（函館市身体障害者福祉団体連合会、９月）
グループホーム１棟の２階共用スペース部分にエアコンを１台設置
助成額：500,000 円

１０ 主な行事

- ・全事業所合同の交流会（１１月２１日）、函館市総合福祉センター
利用者８３名、職員２１名が参加
- ・事業所ごとに利用者自治会を実施